

ワーキング・グループの活動状況

2021.09.16

インフラ管理情報コンソーシアム

ワーキング・グループの活動状況

1. 路面性状測定装置との連携ワーキング・グループ(終了)
2. 地方公共団体の点検関連データとの連携ワーキング・グループ(終了)
3. 地図情報との連携ワーキング・グループ

■ 検討したい課題がありましたら、事務局までお知らせください

2. 地方公共団体の点検関連データとの連携ワーキング・グループ

■ 活動内容

- ▶ 株式会社森エンジニアリングが携わった地方公共団体点検関連業務に関するデータに関し、効率的な管理・運用を目指したシステムの構築の方向性を、検討する。
- ▶ 具体的には、①データの管理・運用目的と対象データの明確化を前提に、それを実現する ②UI ③API ④DB の在り方に関して検討を行い、SIP成果物にあるデータ構造やAPIの適用性について検討する。

■ 構成員

- ▶ 株式会社森エンジニアリング
- ▶ 株式会社ソーシャル・キャピタル・デザイン
- ▶ 株式会社横須賀テレコムリサーチパーク

■ 設立日

- ▶ 2020年8月12日

2. 地方公共団体の点検関連データとの連携ワーキング・グループ

■ 活動結果

▶ 5回のWG

2020年 9月9日・10月7日・11月12日

2021年 6月7日・7月26日 を開催した。

◇株式会社森エンジニアリングの点検業務の効率化に貢献しうるITシステムの方向性を検討した。

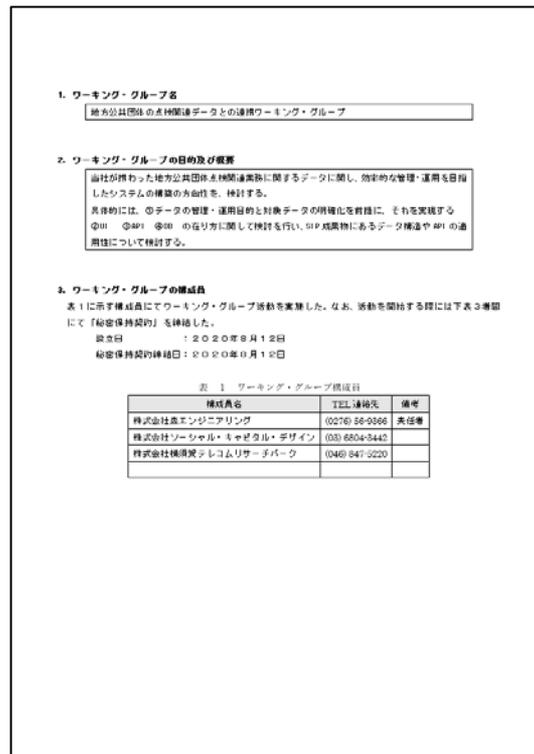
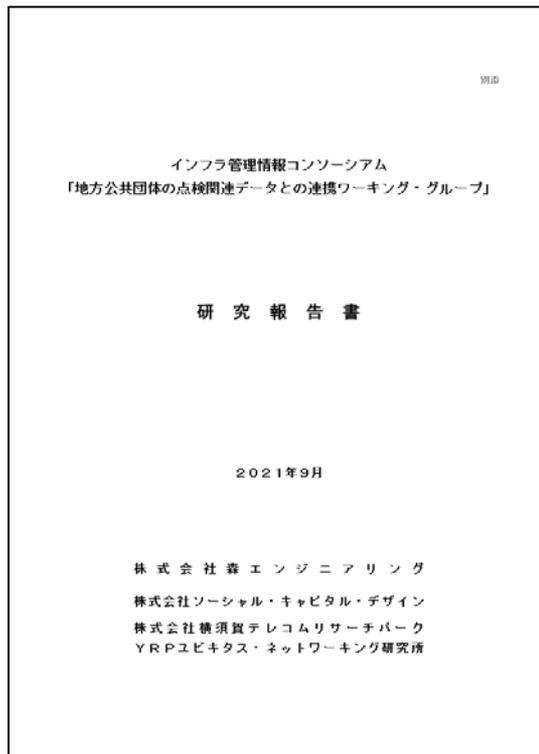
◇橋梁点検の抜本的効率化に向けた検討を進めた。

- ▶ 予定の期間よりも長期となったが、地方公共団体点検関連業務に関する点検効率化システムのシステム開発仕様書を完成し、ワーキング・グループの活動を完了。

2. 地方公共団体の点検関連データとの連携ワーキング・グループ

■ 成果報告書

▶ 会員専用ページ内「分科会／ワーキンググループ」に掲載



3. 地図情報との連携ワーキング・グループ

■ 活動内容

- ▶ 写真等から情報を抽出して図化する手法と、当社が扱っている地図情報との連携に関して、効率的な管理・運用を目指したシステムの構築の方向性を、検討する。
- ▶ 具体的には、①データの管理・運用目的と対象データの明確化を前提に、それを実現する ②UI ③API ④DB の在り方に関して検討を行い、SIP成果物にあるデータ構造やAPIの適用性について検討する。
- ▶ 活動期間は、2ヶ月をめどとする。

■ 構成員

- ▶ 北海道地図株式会社
- ▶ 株式会社ソーシャル・キャピタル・デザイン
- ▶ 株式会社横須賀テレコムリサーチパーク

■ 設立日

- ▶ 2020年11月25日

3. 地図情報との連携ワーキング・グループ

■ 活動結果

- ▶ リモートでの会合を進め、本ワーキング・グループ（WG）での検討テーマを以下のように定めた。
 - ◇ テーマ：高精細航空・衛星写真のAI画像処理による地図自動作成支援システムの構築とDB化
 - ◇ 検討内容：縮尺 1/2,500の地図情報DBとそれを利用した自治体等へのサービス体制構築
 - ◆ 国が公開している地図には国土地理院の地理院地図や基盤地図情報があるが、縮尺1/2,500相当の精度で整備した都市計画区域は約10万km²（日本国土 1/4）でありそれ以外の約27万km²（3/4）は縮尺1/25,000相当の精度の都市計画区域外の情報である。
 - ◆ 本WGでは、高精細航空・衛星写真からAI画像処理により都市計画区域外の地域に関し、縮尺1/2,500相当の精度の地図を完成し、日本全国をカバーする手法を検討する。
 - ◆ 縮尺 1/2,500の地図情報DBを確立し、防災マップ作成等の地方自治体等の要求に即応できる体制を構築することを目指す。
 - ◆ 上記目的を達成するため、北海道地図の地図に関する知見、SCDのAIの知見、YRPのDBの知見を糾合する。
- ▶ 引き続き、課題解決に向けた検討を実施する。